



令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	令和5年度サイエンスツアーin 長岡技術科学大学	
期 日	令和6年1月24日(水)	
会 場	長岡技術科学大学 講義棟 A 講義室	
対 象	普通科1年生	
目 的	地元の長岡技術科学大学の先生の講義を受講し、大学の施設設備を見学することを通して、科学や科学技術への興味・関心を高め、また、その意義や有用性の理解を深める。	
内 容	<p>講義①「大学と大学院のお話・研究のお話～環境に優しい太陽電池」 講師：電気電子情報系 教授 田中 久仁彦 様</p> <p>講義②「外来生物ってどんな生き物？～SDGs と生物多様性～」 講師：基盤共通教育系・SDGs 推進室 講師 山口 勇氣 様</p> <p>学生講話①「社会で使われている大学発の技術・研究について」 講師：機械工学分野 修士1年(てくみゅうボ) 鈴木 海渡 様</p> <p>学生講話②「学生生活について」 講師：経営システム工学分野修士2年 石井 夢月 様</p>	
		
	大学の講義を体験	身近なところで活かされている科学技術
感想など	<p>〈生徒感想より〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大学と高校では、授業の受け方から卒業・修了の仕方まで大きく違うことがよく分かった。また自分が履修する講義を選んで予習・復習をするなど、自分で積極的に行動することが不可欠だということが分かった。理工学部の約80%の学生が大学院に進むということに驚いた。「学び続ける」という姿勢を持ち続けることが学ぶ上で大切だと思った。 • 実際に長岡技大の学生さんの話を聞いて、技術・研究の分野で優れていて、とても素晴らしい大学だと思った。科学技術の考えを次の創造に生かせるというところが強みで、とても面白そうだと思った。 • 進路のイメージが具体的にになってきたので、今後にも生かしていきたいと思う。工学系に対して持っていた印象より幅が広くて驚いた。 	